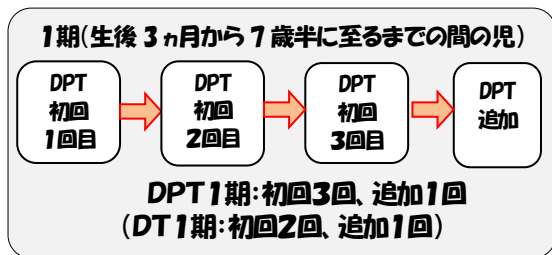


DT予防接種を受けましょう

DT2期予防接種は、ジフテリアおよび破傷風を予防するため、
幼児期に受けたDPT1期(又はDT1期)の追加接種として受ける予防接種です。

【接種スケジュール】



今回受ける予防接種



これまでに受けたDPTの回数に不足がある場合は、今回受けるDT2期(公費負担)の接種だけでは免疫効果が不十分となる場合があります。今後、任意による追加接種(全額自己負担)を希望する場合は、接種回数・間隔について主治医にご相談ください。

対象者：11歳以上13歳未満の者(13歳の誕生日の前日まで) ※沖縄市に住民登録をしている方
※ジフテリア・破傷風のいずれかにかかった方も、DT予防接種を受けることができます。

接種回数：1回

接種料金：無料(公費負担) ※対象者以外は自己負担となります。

★ジフテリア(D)

ジフテリア菌の飛沫感染で起こる病気です。主にのどに感染しますが、鼻にも感染します。症状は、高熱、のどの痛み、犬が吠えるようなせき、おう吐などで、のどに偽膜と呼ばれる膜ができて窒息死することもあります。また、この菌は、ジフテリア毒素を大量に出して神経や心臓の筋肉を侵すため、発病後に心筋障害や神経麻痺を起こし、突然心筋梗塞で死亡することもあります。

現在、国内ではDPTワクチンが普及しほとんど患者はいませんが、ワクチンをやめざるを得なかった旧ソ連などでは大流行が起こり、多数の犠牲者が出ました。

★破傷風(T)

人から人へうつる疾患ではなく、傷口から侵入した破傷風菌が体内で毒素を産生し、それにより神経がおかされ全身の筋肉麻痺やけいれんを起こす病気です。最初は、顔の筋肉を動かしづらく引きつった顔になるなどの症状から始まり、徐々に口が開けにくくなり、その後数日以内に全身の筋肉がいつせいに縮んでけいれんが起こります。頻発するけいれんによって心臓が衰弱し死亡することが多い重篤な疾患です。

破傷風菌は土壌中に存在し、世界中どこにでもいるため、常に感染の危険性があります。深い傷だけではなく、屋外での土遊び等でできる小さな傷でも起こります。また、この菌は自然感染によって免疫を獲得することはなく、予防接種以外に免疫をつける方法はありません。

●DT予防接種の副反応

DT予防接種は、DTトキソイドという不活化ワクチンを接種します。

DTトキソイド接種後の副反応としては、注射部位の赤み・はれ・しこり・痛みなどの局所反応が主で、接種回数を重ねるごとに反応が強くなる傾向があります。赤みやはれなどは一過性で数日中に消失しますが、しこりは1～2週間残ることがあります。

注射部位以外の副反応としては、発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、下痢、めまい、関節痛などを認めることがあります。いずれも一過性で数日中に消失します。

重大な副反応として、まれにショック、アナフィラキシー(じんましん、呼吸困難、血管浮腫等)があらわれることがありますので、接種後は観察を十分に行ってください。

●予防接種による健康被害救済制度について

定期予防接種の後に起きた健康被害が、予防接種によるものと国で認定された場合には、予防接種法に基づく補償(医療費、医療手当、障害児養育年金、障害年金、死亡一時金、葬祭料など)を受けることができます。

沖縄市役所 こども相談・健康課 予防係 TEL 939-1212 (内線 2232・2233)

※この説明書の情報は平成28年4月現在のものです。